

この度は弊社のレシーバーDX-R8をお求め頂き、誠に有り難うございます。

「DX-R8 Clone Utility」はオプションのERW4C(シリアルポート用・国内での販売は終了しております)又はERW7(USBポート用)を使ってDX-R8をパソコンに接続することでお使いになります。

はじめに:

本プログラムはフリーソフトであり、いかなる保証も行いません。プログラムをご利用になることで発生したハードウェア・他のソフトウェアやデータへのダメージなど弊社は一切補償致しかねますので、ご了承下さい。本プログラムの著作権はアルインコ(株)が所有しますが、商業利用を目的としない限りご自由にお使いいただけます。

主な機能:

- ・ ステップやV F O 周波数などのデフォルト 値の設定変更
- ・ セットモードのパラメータ設定
- ・ メモリ周波数データの編集
- ・ 編集した上記データの保存・書き換え・他のDX-R8 へのクローン

注意:

* 当ソフトは、WindowsXP, Windows Vista, 7 での動作確認を行っております。共に管理者権限でインストールを行ってください。

* 当ソフトは最新ファームウェアのユーザーを対象にしております。このソフトで使うケーブル類をお持ちであればファームウェアのバージョンアップも同様に行えます。当ソフトとファームウェアのバージョンアップのいずれかを行った際は、もう一方のソフトにも変更がないか合わせてご確認ください。変更する必要が無ければ特にお知らせは致しませんのでそのままお使いください。

* USB コンバーターを使用し、ERW4CをUSBポートに接続しての動作検証も行っておりますが、相性などにより動作しない場合はシリアルポートのあるPC又はERW7をご使用下さい。

* バグのご連絡は edomestic@alinc.co.jp で承りますが、操作方法についてのご連絡やお問い合わせはご容赦ください。まずソフトをインストールして内容をご覧になり、お使い頂けると判断なさってからケーブルをお求め下さい。

インストール・アンインストールについて:

* ダウンロードするファイルはインストーラー形式です。アンインストールはコントロールパネルの「プログラムの追加と削除」から行って下さい。

* 本ソフトのアップデートを行うときは、旧バージョンを必ずアンインストールしてから行ってください。

*ファームウェアのアップデートと異なり、もし書き込み・読み込み中にエラーやフリーズなどが発生しても、R8・ソフトとも再起動すれば初期状態に戻ります。保存していないデータは失われますので、特に新しく作ったデータで書き込みをする際は、常に必ずデータファイルを保存してからプログラムを操作してください。

操作方法について:

【ご注意】ERW-7をお使いの場合は、必ずドライバーソフトを先にインストールしてくだ

さい。 <http://www.alinco.co.jp/denshi/10.html> の「P C 接続ケーブル」コーナーをご参照ください。初めてお使いの際はプログラムのツール→COMポートの設定を行ってください。(ウインドウズのデバイスマネージャーのプロパティで“ポート(COMとLPT)”を参照、U S B serial port(COM)の番号をユーティリティのツールバー上の【COMポート設定】で合わせる)

* プログラムを立ち上げ、ERW4C/ERW7のプラグを、電源を切ったDX-R8のSPジャックに接続します。クローンモードにする必要はありません。

* 設定の項目は本体で出来る操作と同じです。直感的に分かる操作はここでは説明しておりません。セレクトボックスやプルダウンで好みのパラメータに設定するだけです。

* 操作するRead(読み込み)/Write(書き込み)ボタンにより、全体の読み書きが行えます。

* 終了表示が出て通信が終わったらDX-R8の電源を切ってください。P C 接続ケーブルをS P ジャックから抜いて、再度電源を入れると書き込み内容が反映されます。

* インポート・エクスポート機能を使うとC S Vを扱う作表ソフトなどでメモリー・チャンネルデータの編集ができます。データに不正な書き込みがあると書き込み途中でエラーを起こすことがあります。バグで無い限りお作りになったデータの解析をすることは致して居りませんので予めご了承ください。特にメモリーネーム時、プログラム上では7文字以上や全角文字などは入力できないようになっていますがC S V上では書き込んでしまうので注意が必要です。

Memory タブの操作

* 表の行をダブルクリックすると詳細設定画面がポップアップします。各項目の設定が終わったらOK ボタンをクリックします。

* メモリー・チャンネルはブランクバンク、A バンク、B バンクの順になっています。A と B バンクにはP 1 , P 2 のプログラムスキャン用ペアメモリーがあります。

以上

アルインコ(株)電子事業部